

ものづくり 懸ける青春

高校生ものづくりコンテスト2024県大会・木材加工部門（県高校教育研究会工業部会主催）は1日、水沢真城の胆江地域職業訓練センターで行われた。建築系学科で学ぶ県内の工業高校1・2年生7人が出場し、木材の加工技術を競い合った。審査の結果、水沢工高2年の及川幸誠さんが優勝。来夏、福島県で開催予定の東北大会へ出場する。

（岸川駿也）



建築系学科で学ぶ県内の工業高校生が集い、木材加工の技を競い合った「ものづくりコンテスト」。東北大会出場を目指し、材料に向き合う生徒たちの表情は真剣そのもの

木材加工の技競う 及川幸誠さん（水沢工高2年）V

県内建築系
工業高生

建築に関わる木材加工を通じて工業高生の技術・技能の向上を図り、ものづくりへの意欲や関心を高めることで技能労働者の育成と工業教育の発展を狙いに開催。今大会には、盛岡工建築デザイン学科と水沢工インテリア学科から合わせて生徒7人が出場した。

大会は3時間以内に対応された材料で仕様や課題図、現寸図に従って木造りと仕上げ、墨付け、加工、組み立てを行い、それぞれの技術力を競う。部位ごとの寸法や構造のゆがみなど、完成品の細部に至るまで審査の対象となり、高度な技術が要求される。加えて、道具の扱い方や作業手順、服装の乱れなど大会に臨む生徒の態度や身だしなみも評価される。

生徒たちは工具を丁寧に扱いながら、真剣な表情で木材を手際よく加工。手渡された課題図に沿って磨いてきた技術を発揮し、優勝を目指して奮闘していた。

優勝者を除く審査結果は次の通り。

- ②上藤耕平（盛岡工2年）③菊池貴裕（水沢工1年）④川原快翔（盛岡工2年）⑤菊地鋲（水沢工1年）⑥袖林徠琉（盛岡工2年）